

世界を知り、日本に活かす



人事・恩給局労働係 併任 国際係

鈴木 友香 Suzuki Yuka

平成22年4月 総務省採用
統計局統計調査部国勢統計課
労働力人口統計室
平成24年4月 現職

ダイナミックさが魅力

人事・恩給局では、国家公務員に関する制度の企画・立案を担っています。中でも私は、国際労働機関（ILO）への対応を主に担当しています。「国家公務員とILO? どんな関係?」という疑問が湧きませんか!? 説明させて下さい。ILO加盟国は、各ILO条約の示す国際的労働基準が国内でどのように適用されているかをILOに報告する必要があります。今まで、国家公務員制度に関する事項、例えば、給与法の改正、育児休業制度の拡充、公務員制度改革などを報告してきました。

この業務にあたっては、2つのディメンション - 日本の歴史と世界からみた日本 - の理解が重要だと感じています。つまり、日本の国家公務員制度の歴史的な蓄積と、ILOなどの設定する国際的基準からみた日本の制度の評価、この2つを研究して、我が国の制度作りにかかすということです。歴史的視野と国際的視野の広がりを実感できるダイナミックさこそ、業務の魅力でしょう!

世界を感じる

人事・恩給局での貴重な体験は、国際会議に出席したことです。1つは、スイスのジュネーブで開催されたILO総会への出席です。政府・労働者・使用者の三者構成と非常に大規模で、迫力があり、各国参加者が活発に意見を交わす様子は刺激的でした。もう1つは、パリで開催されたOECDの会議に1人で(!)出席したことです。文化や経済情勢は違えど、「国を良くする」という理念は皆同じで、各国の進める挑戦と実践を生の声で聞くことができました。

働くのではなく、“よりよく”働く

人事管理を担う人事・恩給局では、効率的な働き方を各自が率先して考え、実践しているように思います。例えば、育児のために通常より短い時間で勤務を行う職員は、時間が限られる分、業務の割振や優先順位を工夫することで落ち度なく仕事をこなしています。このような諸先輩方には学ぶばかりです。

また、総務省全体の雰囲気は、幅広い業務を担っているためか、バラエティに富む人材が集まっている!と思うのは私だけでないはずですよ。